

森づくり通信 No.66

2022年(令和4年) 12月 19日(月)発行

発行/金沢森づくりサポートバンク事務局

920-1301 金沢市永安町77番地(金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



森づくり通信を発行するのに過去の通信を眺めていると、令和2年にコロナ感染の蔓延が始まり、石川県では2/20に初感染が報道され4/27に安倍総理から緊急事態宣言が発出されました。今も感染は引き続いていますが窮屈な状況から少しは緩和され、金沢の観光客も増えてきたように思います。

私共の活動も小学校や児童クラブの依頼が増え、最初に森林について教室で学んでもらい次に森の現地での活動と充実した出前講座も出来るようになりました。

今年一年お世話になりました。良い年をお迎え下さい、来年もよろしくお願い致します。

●年末年始のお知らせ●

金沢森づくりサポートバンク事務局の業務は、年末は12月28日(木)まで、年始は1月4日(水)からとなります。

お問い合わせやご連絡の際は、よろしくお願い致します。

10/12・26 四十万小学校出前講座



3年生担任の先生から出前講座の依頼を受け、竹を使った作品と金沢の木を使った作品の2種類の講座を行ってほしいとの事でした。



2クラス61名の児童が在籍しており、1回目の講座は教室で森について学んでもらった後、ピロティホールで竹を切りカップや皿などの食器類を作ってもらいました。



2回目は金沢のスギを使ってミニプランターを作りました。時間が押してきたが児童たちは大満足そうでした。



10/19・11/30 医王山小学校出前講座



来年マルテルームの内装を金沢産のスギ材で改装するにあたり、児童に伐って、使って、植えて、育てる森林資源の循環を学んでもらうための森づくり出前講座を行いました。



10/19(水)は5年生児童9名を医王の里の造林地に案内し、スギの間伐伐倒作業を見学し、枝払いとロープでの搬出体験をしてもらいました。



11/30(水)は学校で森林についての座学と竹を切って竹ポットを作ってもらい、校区の医王の里で拾ったドングリを蒔いて育ててもらう事にしました。





森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての説明を行う、または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

11/1・11(火・金) 犀川小学校出前講座

犀川小学校5年生42名を対象に森の出前講座を行いました。昨年の講座は5、6年生が合同での座学講座でしたが、今年度は5年生のみの通常開催となりました。1回目の講座は2時限の時間をとってもらい、森の働きの中



でも山が崩れるのを防ぎ飲水の元になる雨水をきれいに美味しくしてくれる事や地球温暖化を防いでいることの説明を行い、森の土を入れたペットボトルに泥水を入れてきれいな水に変わる実験も行いました。



2回目は、近くのいたやの森で先輩たちが植えた木の草刈りや灌木を伐る体験を行い、灌木を森の麓まで運びコースター状に切ってヒモ穴を開け、後日乾いてから名前やイラストを描いてネームプレートにする予定です。



11/2・9(水・水) 田上小学校出前講座

田上小学校は来春朝霧台小学校開校で2校に分れる予定で、朝霧台小学校の校舎に田上町のスギが使われ、伐採後の市営造林地を田上学童林として子ども達の環境教育のフィールドとして利用することになりました。



このような計画のもと5年生159名を対象に森の恩恵について教室で学んでもらい、学童林現地では木の植栽と、伐られた木がどの様に加工され使われるかを知ってもらうため、金沢森林組合の宮野製材工場の見学を行いました。



人数が多いので宮野工場と学童林の2班に分かれて交互に見学と植栽を行いました。



それぞれの会場でふりかえりを行い、森を大切にしたいとの感想もありました。

11月18日 内川緑の少年団出前講座



金沢市唯一の緑の少年団組織の内川小学校で児童32名が3年生はマルチスタンド、4年生以上はグループに分かれてオリジナルシェルフを作りました。



始める前に木を使うことは地球温暖化防止になる事などの話をしてから作ってもらいました。

12月3日 わくなみこども園出前講座



わくなみこども園父母の会からの依頼で森の出前講座を行いました。対象が園児で親子行事との事だったので森の紹介を簡単に行い、パワーポイント紙芝居を見て、木のコースターをクリスマスツリーのオーナメント用にデザインしてもらいました。





森づくり活動 実施報告



元気な森林を守り育てるため、森づくり活動を行っています。

森林は、私たちの暮らしを守り、様々な恵みを与えてくれます。しかし、手入れ不足や放置されることで森林は荒廃が進み、その働きが充分発揮できず森の恵みや生物の多様性も損なわれます。

大切な森林を守り育てるため、一般市民、企業、地元、NPO法人等の協力を得て森づくり活動を行っています。

<問い合わせ先>金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

9/4 (日) 森のファミリースクール



角間里山みらい運営で、一般公募で申込みがあった市民親子30名が、医王の里でバリアフリーの木道の踏み板のイラストペイントや、金沢の森のスギ間伐材の写真立て作り、森の中でのネイチャーゲームなどを楽しみ自然を満喫しました。

9/11 (日) ダンロップの森づくり



キゴ山ダンロップの森においてダンロップタイヤ北陸の社員、家族20名が参加し草刈り中心の森づくり活動を行いました。フィールドを3チームに分け刈払機チームと手刈りチームは距離を取り、残りはカラマツの植栽木の下刈りを行いました。

10/15 (土) きんしんの森づくり



東原町のきんしんの森に60名が参加し森づくり活動を行いました。草刈り中心の活動でしたが丸太ベンチの設置や森への入り口の道路にスギ丸太を数本埋め排水の改善を図りました。親子は天然木でネームプレートやコマを作りました。

10/16 (日) アルプの森づくり



アルプ薬局社員、家族 45 名が参加し、金沢大学キャンパス内アジチ谷のアルプの森でシャクヤク畑の草むしり、肥料やり等の整備を行い、親子参加者はサツマイモ掘りを中心に行いました。天候にも恵まれ親子で森の中を楽しみました。

11/5 (土) コマツの森づくり



コマツでは地域貢献の一環として海岸林の再生のため、H22年より抵抗生クロマツの植栽を進めて来ましたが、昨今のコロナ禍のため活動を自粛していましたが、今回栗崎町会、金沢パークゴルフ協会、金沢市海岸砂防協会の皆さん133名の参加者で森づくり活動を行いました。



金沢市農林局長、コマツ金沢担当部長、栗崎町会連合会長、下沢市議の開会挨拶後、作業地に移動し5グループに分かれて草刈り中心の作業を行いました。活動初年度に植えた抵抗性クロマツも大きくなり、コマツの社員の方々間伐を行いました。

金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

会員、団体様の森づくり活動の様子や当協会が運営する森づくりイベントの募集などを掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどできるサイトとなっています。

サイト内には年4回発行の森づくり通信の創刊号から最新号まで閲覧できるようになっており、皆さんの懐かしい写真や直近の活動の写真もありますので、ぜひご覧になってください。



金沢林業大学校第8期研修生(令和5年4月入校)を募集します！

金沢市では、中山間地の活性化・次世代の森林管理と林産物生産等の担い手を育成するため、金沢林業大学校を運営しています。今回、第8期研修生(令和5年4月入校)を募集しますので、金沢森づくりサポートバンク登録者の皆様にもお知らせを致します。

受講料は無料(一部教材費など実費負担)で、実習中心の研修により、先進の経営者や生産者から、実践的な技術や知識を学ぶことができます。

林業への就労を目指す方向けに「林業専門コース」、持ち山管理や地域の森づくりなど林業の基礎を習得したい方向けに「林業基礎コース」があります。それぞれのコースで、必要な資格を無料で取得できるほか、機材の購入費なども市が支援します。

詳細については同封した募集チラシをご覧ください、ご興味のある方は是非ご応募ください！

金沢林業大学校 事務局

tel:076-229-1720 fax:076-229-1172

e-mail:academy@kanazawa-forest.com

編集雑記

「木炭のⅡ」

前回に続き木炭について記してみたいと思います。

里山(森)の再生・循環という視点からは森が適度に利用されていれば荒廃から免れると思いますが、人間にとって利用価値が感じられない、又は無関心などで放置される事によって様々な不都合が起こっている現状があります。

炭焼は森を再生してゆく面で非常に有効な手段だと思えます。まず炭にするために伐ったナラなどの樹木は株から萌芽し、15年ほどで利用できる木に育ち森が若返り、きのこの原木や薪にして利用する事もできます。この様な行為がヤブになることを防ぎ、病虫害にあった木の除去にも役立ち蔓延を防ぎます。

次に炭の利用方法ですが、昔ながらの熱源として遠赤外線でじっくりと焼いたイワナや鮎などは絶品です。他にも消臭剤、調湿剤、歯磨き粉や石鹼に練り込んだ商品などがCMで流され、水質浄化材としてレストランの水差しの中に入っているのも見かけた事があります。

この様に炭化された樹木は大小様々な穴が空いた多孔体となり、様々な物質を吸着させる事ができタバコのフィルターなどにも使われています。畑に撒けば微生物の住処になり土中水分の調整も行ってくれ、副産物の木酢液も有効に利用されています。(ここだけの話ですが水虫を治した人もいます)

